

# 政 策 討 論 会 報 告 書

開催日時	令和4年2月5日（土） 午後2時30分から午後4時40分		
開催場所	市役所低層棟3階 全員協議会室		
出席議員	石原 昂	小林 澄子	末吉美帆子
	谷口 雅典	村上 浩	越阪部征衛
	座 長	末吉美帆子	副 座 長
	記 録 者	末吉美帆子	
パネリスト	清水 康平さん（市民団体「子ども地域ネットワーク所沢」）、小出 愛菜さん（一般社団法人 we Re:Act）、菊地菜々美さん（所沢高校3年生）、所沢高校インターアクトクラブ（6人）		
参加人数	18人		
内 容	【テーマ】コロナ禍の子どもたち～教育と福祉の垣根を越えて～		
	【内容】座長より政策討論会の主旨を説明の後、まず初めに、パネリストとして参加していただいた清水さん、小出さん、菊地さん、所沢高校インターアクトクラブの皆さんから「コロナ禍で感じたこと」というテーマで、自身の体験談として、小中学校、高校、大学生活の中で多くの制約や忍耐を感じるが多かったといった発表があった。その後、石原議員から「児童虐待の推移、通報」、小林議員から「ギガスクール、子ども食堂」、谷口議員から「困った時の相談体制と連携」、越阪部議員から「ご近所力、親力、地域力」、村上議員から「給食停止時のお弁当持参から見えたもの」という事例の調査報告、問題提起を行い、その後、パネリストを交えながら自由討議・意見交流を行った。		
	自由討議・意見交流で出た主な内容は以下の通り		
	「児童虐待を巧妙な偽装で隠す場合もある。通報のハードルを下げ強化すべき」		
	「オンライン授業が進んだ。登校選択制や少人数学級の推進を」「スクールソーシャルワーカーの充実を」「LINE相談等の充実」「データベースの整備を」「お弁当を持参できない背景は貧困だけではない。教育現場に解決を求めるだけでなく、福祉の視点や力量をもつ人材の配置を」「学校の部活動の練習時間などで制約を受けた。せめて発表する場が欲しかった」「子どもたちも多くの意見を持っている。こうして意見交換ができる場を増やしてほしい」「活動できるスペースが欲しい」		
	「子どもたちの居場所がない。やりたいことを話せる場を作りたい」など		
	最後に出席議員、9人のパネリストから一言ずつ感想を述べて終了。		
	・感染状況に配慮し傍聴者数を制限したため、当日の様子は後日 YouTube 配信予定		
	・手話通訳に加え、市議会のイベントに初めて要約筆記通訳を導入した。		
	・パネリストからは「また意見交換の場を」「本会議場でやってみたい」		
	「高校生議会をやりたい」など多くの前向きな感想を頂いた。		

広聴広報委員長 谷口 雅典 様

令和4年2月10日

上記のとおり報告します。

座長 末吉 美帆子